RG79V284H03

MITSUBISHI 三菱電機パッケージエアコン別売部品
高湿度対応キット取付説明書 PAC-SH62HK

お願い

- 本キットの取付けは、室内ユニット据付前に行ってください。室内ユニット据付後の取付けは、難作業となります。
- 本キットは、加湿器、多機能ケースメント、電気集じん器との組合せには対応していません。

安全のために必ず守ること

- 取付けは、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ、確実に行なってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの。

- 取付け完了後、試運転を行ない異常がないことを確認するとともに、この取付説明書は取扱説明書と共に、お客様で保管いただくように依頼してください。また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくよう依頼してください。

⚠警告

取付けは、販売店または専門業者に依頼する。

- お客様自身で取付けをされ不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

ポリ袋は幼児の手の届くところに置かない。

- 頭からかぶるなどしたときに口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

取付けは、この取付説明書に従って確実に行なう。

- 取付けに不備があると、部品によっては水漏れや感電、火災等の原因になることがあります。

取付け（移設）・電気工事をする前に

⚠注意

冷媒配管工事がある場合の断熱は結露しないように確実に行なう。

- 不完全な断熱施工を行なうと配管等表面が結露して、露タレ等を発生し、天井・床その他、大切なものを濡らす原因となります。

ドレン配管工事がある場合は、取付説明書に従って確実に排水するよう施工し、結露が生じないよう保温すること。

- 配管工事に不備があると、水漏れし、天井・床その他家財等を濡らす原因になることがあります。

電源配線工事がある場合は、電流容量に合った規格品の電線を使用すること。

- 漏電や発熱・火災の原因になることがあります。

1. 部品の確認

この箱の中には、本説明書と下記部品が入っています。（各部品の形状は、断熱材側から見た形状です）

品番品名	①冷媒配管部用断熱材-A	②冷媒配管部用断熱材-B	③冷媒配管部用断熱材-C	④冷媒配管部用断熱材-D	⑤吊金具用断熱材-A（冷媒配管部） T穴形状用	⑤吊金具用断熱材-A（冷媒配管部） L穴形状用	⑥室内ユニット側面用断熱材-A
個数	1	1	1	1	1	1	1

品番品名	⑦室内ユニット側面用断熱材-B	⑧室内ユニット側面用断熱材-C	⑨吊金具用断熱材-B（ユニット側面部） T穴形状用	⑨吊金具用断熱材-B（ユニット側面部） L穴形状用	⑩吊金具用断熱材-C（ユニット側面部） T穴形状用	⑩吊金具用断熱材-C（ユニット側面部） L穴形状用
個数	1	1	2	2	1	1

品番品名	⑪室内ユニット天面用断熱材-A	⑫室内ユニット天面用断熱材-B	⑬コーナーパネル用断熱材-A	⑭コーナーパネル用断熱材-B	⑮予備 サイズ：t5×300×300
個数	1	1	4	4	1

⚠注意

(1)各断熱材は、本取付説明書のとおりに取付けてください。取付けに不備があると、露付き・露たれの原因となります。
(2)各断熱材は、のり付品です。取付けるとはがれないため、取付位置をよく確認した上で取付けてください。
(3)取付けの際にすき間・破れなどが発生した場合は、予備⑮を任意の大きさに切り、取付けてください。
　すき間・破れがあると露付き・露たれの原因となります。

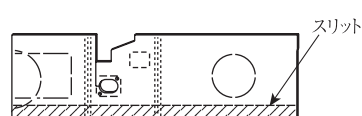
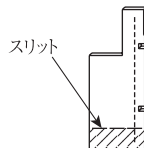
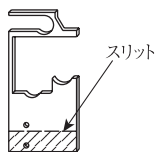
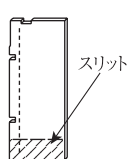
2. 高湿度対応キット取付前の準備

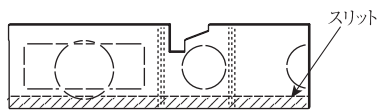
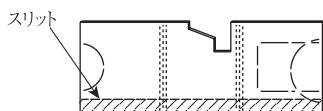
●室内ユニット小形タイプに取付けの場合は、断熱材②～④,⑥～⑧を切断し使用してください。
※各断熱材の切断部分は下図の網掛け部分です。切断位置にスリットが入っていますので、ハサミなどで切断してください。
（切断部分は使用しませんので、不用となります）

● 冷媒配管部用断熱材-B②

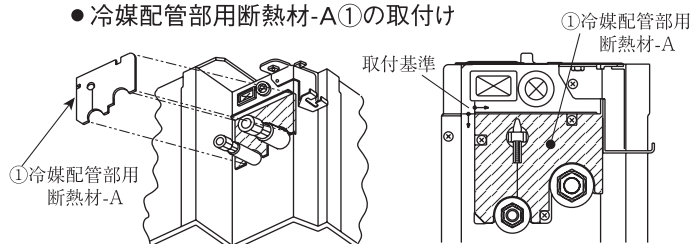
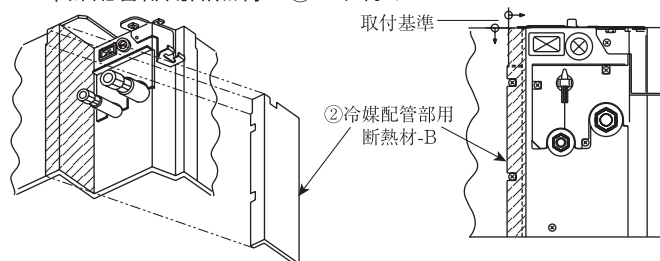
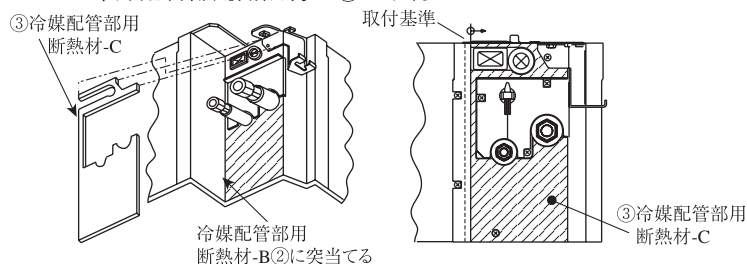
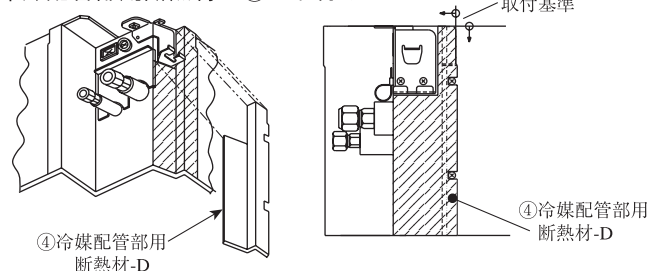
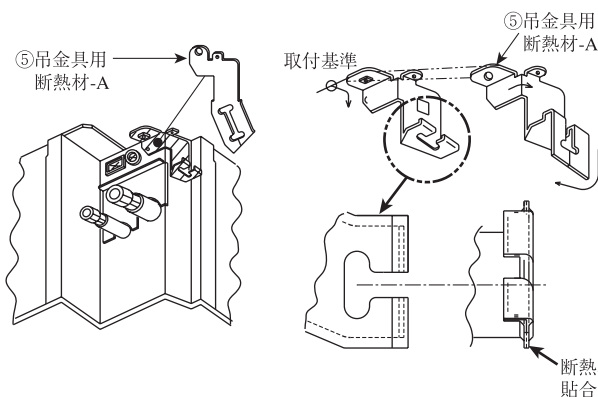
● 冷媒配管部用断熱材-C③

● 冷媒配管部用断熱材-D④

● 室内ユニット側面用断熱材-A⑥

● 室内ユニット側面用断熱材-B⑦

● 室内ユニット側面用断熱材-C⑧

3. 冷媒配管部への取付け （手順１）

●冷媒配管部に断熱材①～⑤を取付けます。
※断熱材①→②→③→④→⑤の順に、形状に合わせ取付けてください。
※取付前に取付位置・形状を必ず確認してください。
※取付けにくい場合は任意の位置で切断し、取付けてください。
※各断熱材はすき間がないように取付けてください。
※すき間・破れが発生した場合は、予備⑮を任意の大きさに切り、取付けてください。

● 冷媒配管部用断熱材-A①の取付け

● 冷媒配管部用断熱材-B②の取付け

● 冷媒配管部用断熱材-C③の取付け

● 冷媒配管部用断熱材-D④の取付け

● 吊金具用断熱材-A⑤の取付け
※吊金具の穴形状には、T穴形状、L穴形状の2種類があるため、
形状に合った吊金具用断熱材-A⑤を取付けてください。

● すき間をふさぐ

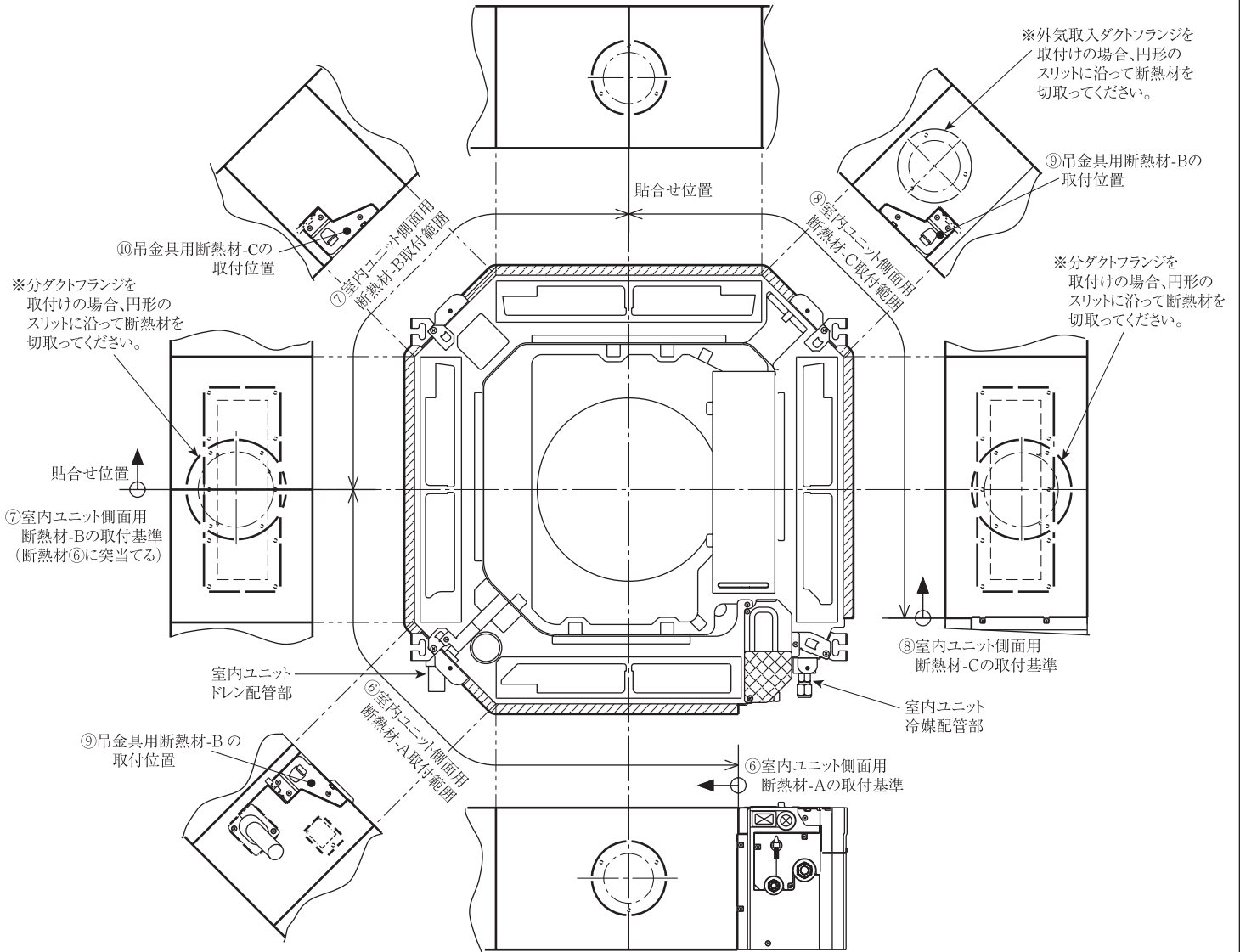
※予備⑮を任意の大きさに切り、
図示網掛け部のようなすき間を
ふさいでください。

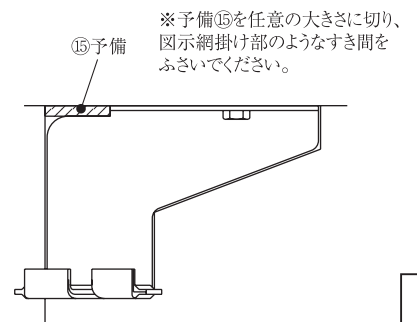
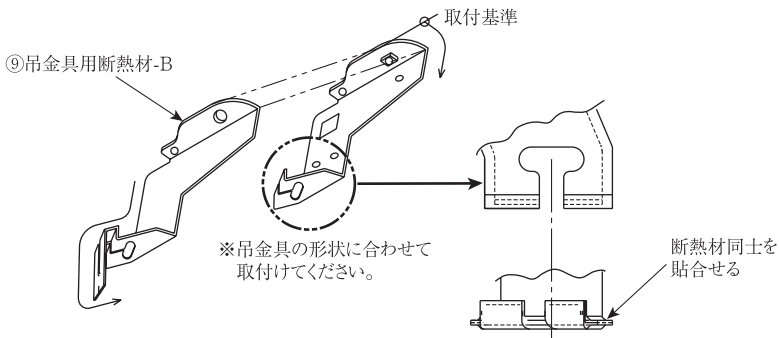
裏面につづく ➡

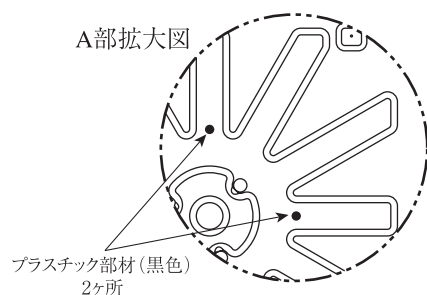
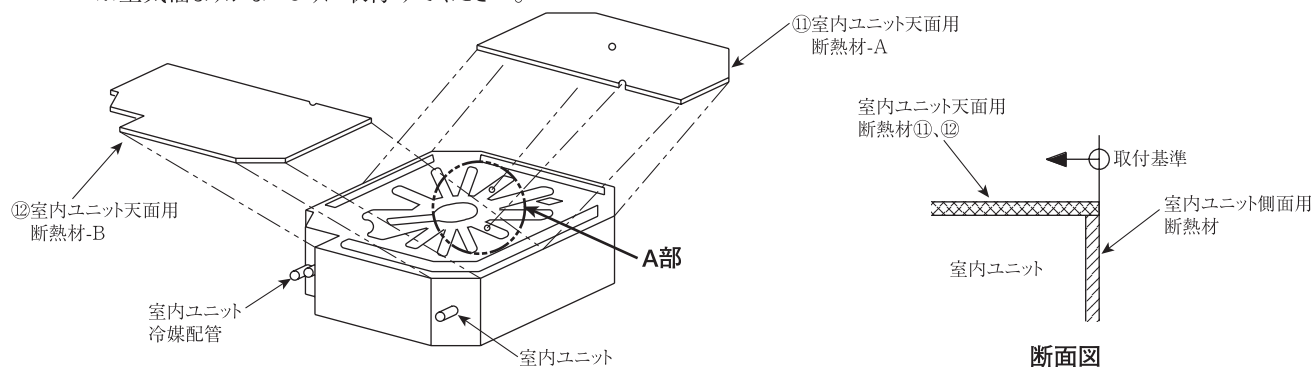
4. 室内ユニット側面への取付け （手順２）

●室内ユニット側面に断熱材⑥～⑧を取付けます。

※断熱材⑥→⑦→⑧の順に、形状に合わせ取付けてください。
※取付前に取付位置・形状を必ず確認してください。
※取付けにくい場合は任意の位置で切断し、取付けてください。
※各断熱材はすき間がないように取付けてください。
※すき間・破れが発生した場合は、予備⑮を任意の大きさに切り、取付けてください。
※外気取入ダクトフランジ・分ダクトフランジを取付けの場合、取付位置の断熱材を
スリットに沿って切取り、それぞれの取付説明書を参照し取付けてください。（取付後には、充分な断熱施工をしてください）

※外気取入ダクトフランジを取付けの場合、円形のスリットに沿って断熱材を切取ってください。
⑨吊金具用断熱材-Bの取付位置
貼合せ位置
⑧室内ユニット側面用断熱材-C取付範囲
⑦室内ユニット側面用断熱材-B取付範囲
⑩吊金具用断熱材-Cの取付位置
※分ダクトフランジを取付けの場合、円形のスリットに沿って断熱材を切取ってください。
※分ダクトフランジを取付けの場合、円形のスリットに沿って断熱材を切取ってください。
貼合せ位置
⑦室内ユニット側面用断熱材-Bの取付基準（断熱材⑥に突当てる）
⑧室内ユニット側面用断熱材-Cの取付基準
室内ユニットドレン配管部
⑥室内ユニット側面用断熱材-A取付範囲
室内ユニット冷媒配管部
⑨吊金具用断熱材-Bの取付位置
⑥室内ユニット側面用断熱材-Aの取付基準

●室内ユニット側面の吊金具に断熱材⑨,⑩を取付けます。

※取付前に取付位置・形状を必ず確認してください。
※吊金具用断熱材-B⑨（2ヶ所）,吊金具用断熱材-C⑩（1ヶ所）の取付方法は同じです。
※吊金具の穴形状にはT穴形状、L穴形状の2種類があるため、形状に合った吊金具用断熱材-B⑨,
吊金具用断熱材-C⑩を取付けてください。

5. 室内ユニット天面への取付け （手順３）

●室内ユニット天面に断熱材⑪,⑫を取付けます。
※室内ユニット天面の形状に合わせ取付けてください。
※取付前に取付位置･形状を必ず確認してください。
※各断熱材は､すき間がないように取付けてください。
※すき間･破れが発生した場合は､予備⑮を任意の大きさに切り､取付けてください。
※空気溜まりがないように取付けてください。

⚠注意

● 室内ユニット天面用断熱材⑪,⑫を取付けの際には､左図に示す部分にある
プラスチック部材（黒色）を強く押さえないでください。
強く押さえると､室内ユニット内部のファンに当たり､異常音･故障の原因となります。
● 室内ユニット天面はネジの先端部分が出ているので､充分注意し作業してください。

6．コーナーパネルへの取付け （手順４）

●化粧パネル のコーナーパネルに断熱材⑬,⑭を取付けます。
※室内ユニット据付の際は､室内ユニットに付属の据付工事説明書を
参照ください。
※化粧パネルの据付･コーナーパネルの取外し方は､化粧パネルに
付属の据付工事説明書を参照してください。
※取付前に取付位置･形状を必ず確認してください。

⚠注意

● コーナーパネル用断熱材⑬,⑭は､必ず化粧パネルの
コーナーパネルに取付けてください。
他の場所に取付けた場合､露付き･露たれの原因となります。

三菱電機株式会社 静岡製作所 〒422-8528 静岡市駿河区小鹿3-18-1 ☎(054)285-1111（代表）